

令和 7 年度

第2回上牧町協働のまちづくり公募型補助金審査判定委員会

議 事 録

日 時 令和 7 年 8 月 20 日(水) 午前 9 時00分から
場 所 上牧町役場 2階 第 3 会議室
委 員 小林三紘委員、濱野進委員、小島奈美委員、鶴谷将彦委員、福井希実委員、中川恵友委員(総務部長)、吉川昭仁委員(都市環境部長)
事 務 局 中本課長、土井課長補佐、高野係長、中村主事
次 第 ①開会
②申請者によるプレゼンテーション
③補助金交付の適否の審査・判定
④その他
⑤閉会

◆開会

◆申請者によるプレゼンテーション

【申請事業:上牧町在住外国人交流事業】

- ・事務局から審査対象事業の概要説明
- ・申請団体代表者によるプレゼンテーション

<申請事業概要>

事 業 名:上牧町在住外国人交流事業

団 体 名:Together

事 業 費:176,700 円

補助対象経費:176,700 円

補 助 金 額:146,700 円

<各委員からの意見質問等>

委 員: 町外社会見学としてバスの借り上げ料があるが、具体的な見学先は決まっているか。
また、移動がバスであるのは、道中の車内での会話を想定してのことか。

申請者: 具体的な見学先は決まっていない。また、移動がバスであるのは、道中の車内での会話を想定してのことであり、有意義な時間になると考えている。

委 員: Together の活動に参加されている外国人の困りごとやニーズを把握しているか。

申請者: 差し迫った困りごとがあるとは聞いていないが、普段は職場と自宅の往復で終わってしまうので、外での交流の場を求めているかたが参加していると考えている。しかしながら、生活面での困りごとがないとは考え難いので、今後、それらを収集できる仕組み

や相談先の効果的な周知方法については検討していく。

委 員：おそらく横のつながりがあり、先輩に聞くことなどで解決しているということだろう。個別の困りごとを捕捉できているというわけではないということか。

申請者：そのとおりである。

委 員：同じ勤め先の者は同じ地区にかたまって住んでいるというような傾向はあるか。

申請者：その傾向はある。片岡台団地はその一例である。

委 員：活動に参加されているかたの年齢や未婚・既婚といった点に傾向はあるか。

申請者：一定の傾向はみられない。

委 員：傾向はないということなので、様々なニーズが想定されるということだろう。今後はイベントに加え、日常生活での困りごとのサポートなどを探索的にでもされるとよいと考える。

委 員：会則に寄附金や助成金等をもって運営費とするといった文言があるが、申請書を見る限り寄附金はなさそうであるが、現状寄附金は募れていないということか。

申請者：過去含め寄附金があったことはない。ただ、補助年限の区切りもあることから、来年度以降どうするのかということを考える必要はあるが、具体化まで至っていない。

委 員：外国人のかたは片岡台団地に多く住まわれているということであるが、UR や地域住民から意見や苦情のようなものはあるか。

申請者：ごみの捨て方については耳にしたことがあるが、分別方法のわかりやすいパネルを作成し、分別方法を周知したことで改善されたと聞いている。そのほかには、大声での会話についても聞いたことがあるが、最低限のマナーについて説明することに加え、閉鎖的なコミュニティにしておくのではなく、日本人との交流の場を増やしていき、輪の中に入れて説明をしていくということが大切だと考えている。

委 員：UR 側も様々な工夫をされているということだろう。

申請者：UR に外国人が集まる理由の一つに、入居にあたり国籍制限がないということが考えられる。民間のマンションは国により入居拒否という運用をしているところもあるが、UR は特段制限をかけていないということも外国人が集まる要因となっている。

委 員：毎月の定例会には日本人のみではなく、外国籍のかたも参加しているか。

申請者：平均 10 名の外国籍のかたが参加している。

委 員：事業集収入として 1 人あたり 3,000 円とあるが、どういったときに集金しているのか。

申請者：大きなイベントに参加された際に集金している。

委 員：年会費のようなものではないということだろう。今後活動されていくにあたっては、活動資金をどうするのかという話があると思う。上牧町に 300 人ほどいらっしゃる外国人の多くは郁慈会や東洋シールに勤務されているということであれば、それらの事業所のかたにも Together の活動に参加していただき、活動内容を知っていただき、金銭面含めた賛同を得ていくということが必要だろう。社会見学として昨年度は海遊館に行ったということであるが、例えば防災センターに防災の学習をしに行くことを検討してみてほしい。

申請者：社会見学にあたっては、その施設が多言語対応しているのかという点が重要になるが、今後検討する。

<審査結果>

内容を確認した結果、適正であると認められた。

◆閉会

終了 午前 10 時